

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表									
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点		
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	開館時間中(10:00～18:00)、自由来館となっている。	－	
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※①がないため②の2倍を点数とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(上記(3)適用) ※今回は指定管理4年目の評価のため、本来は上記(2)を適用するが、25年度に利用人数のカウント方法を見直したため、算出に1～3年目(22～24年度)の平均利用人数を使うことは実態とそぐわない。従って、25年度の利用人数で26年度の利用人数を割ることで平均値比を求める。 101%≒利用人数(延べ8,810人)÷8,684人	105%未満～95% 4点	・1月より校区内に駅北親子ひろばが開設された影響により、乳幼児の利用はやや減少している。 ・小学生は低学年の利用が増加したことにより、付き添いとなる大人の来館者も増加した。 【26年度】 来館者数 8,810人 乳幼児 2,829人 小学生 2,617人 中高生 41人 大人 3,323人 【25年度】 来館者数 8,684人 乳幼児 3,137人 小学生 2,367人 中高生 63人 大人 3,117人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	・乳幼児対象事業(計143回開催、延べ3,404名参加) ・児童対象事業(計142回開催、延べ1,558名参加) ・多世代間交流事業(計13回開催、延べ1,311名参加) ・一般来館者対象事業(計72回開催、延べ377名参加) ・子どもボランティア事業(計32回開催、延べ98名参加) ・中高生事業(計7回開催、延べ85名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計17回開催、延べ50名)	仕様書以上 12点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・「英語で遊ぼう」親子deリトミック」の2クラブを立ち上げ、25年度以上に乳幼児クラブを充実させた。	12点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2～0点	・地域の特性を活かした事業(計39回開催、延べ982名参加) ・自主事業(計4回開催し、延べ406名参加) ※別紙:事業報告書 参照	期待以上 13点	・社会福祉協議会の特性を活かした自主事業を行った。 ・地域の特性を活かした事業を適正に行った。 ・福祉体験を長期休暇中に取り入れた。	13点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	定期清掃・日常清掃	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数、実施されている。	10点
			②保守・点検			電気工作物、運動器具の点検は、業務委託により実施。	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置消防設備の保安点検は委託により実施 夜間館内警備については委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			①ブラインド取り付け(和室)(41,040円)②トイレ修繕工事(25,380円)③遊戯室壁補修等(5,000円)④トイレ便器調整(3,240円)⑤トイレ窓ガラス修繕 (21,600円、①、②、③、④、⑤については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	修繕が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			毎月1回職員による安全点検、業者による遊具の点検実施	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録に基き管理している。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			多治見市の環境方針に準じ対応。使用済みの封筒の使用、個人情報に注意し、裏紙の再利用、Eメールでの対応、資源ごみのリサイクル実施に配慮している。 飲食の伴う行事の時は、箸やお碗を持込みしてもらうなど、廃棄物に配慮している。冷暖房・電灯をこまめに切る。冷房の設定温度は28℃としている。プールの水で打ち水をし、暑さ対策をしている。雨水を花壇などに利用している。	適正(普通) 2点	環境への配慮を多く行っていることは評価できる。	
			③バリアフリー			洋式トイレ(大人用、幼児用)設置	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳にそって管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を制定し、適正に管理。 重要な書類は、鍵のかかるキャビネットで保管している。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等への対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	・事故が起きた際は、社会福祉協議会内での事故報告はその都度行われ、今後の事故防止に繋げる体制をとっている。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	9,681,290÷7,795,700≒124%	105%以上 5点	職員配置に伴い正規職員の人件費が減ったことにより、黒字となった。	5点
	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・アンケートボックスを設置して随時、意見を受け付けるとともに、クラブ・行事等後にその都度アンケートを実施している。 ・平成25年度のアンケートの要望を受け、平成26年度より新しい乳幼児クラブを2つ発足させた。	期待以上 8点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。	8点	
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設置し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第3者委員を設置している。	4点	

4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	事業のため不足する駐車場は、近隣地域との連携により確保している。 ・子ども会活動、学童クラブなど子どもを取り巻く地域との連携事業を実施した。 ・社会福祉協議会の特性を活かし、総合福祉センター内の障がい者、老人センター、母子父子福祉センターとの交流事業を実施した。 ・同指定管理児童館との共催事業を行い、校区外の親子の交流を図った。 ・講師を招いて実技研修(工作・一輪車・防犯訓練・AED・支援児について)、職員研修(社協全体研修・東濃ブロック研修・各館持ち寄り体操や作品交流研修)を実施した。 ・毎月1回 代表者会議・夜常勤職員会を実施し、各館との交流・ヒアリングなど周知している。 ・母親クラブや母親クラブ支援事業を行い母親クラブの育成に努めている。	期待以上 12点	・地域との積極的な連携を行っている。 ・社会福祉協議会の特性を活かした事業が実施されている。 ・資質向上のため研修を行ったり、常勤職員全員で会議を行い事業運営の向上を図っていることは評価できる。	12点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
		合計	100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				82点
							全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・参加者の満足度、地域との連携など概ね良好である。 ・施設の構造上、大きな行事を館内で行うことは難しいが、地域と連携し、館外で事業を行っていることは評価できる。	良好